

## 総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業実践事例

都道府県名

和歌山県

受託団体名

社団法人 和歌山県体育協会  
(和歌山県広域スポーツセンター)

実践テーマ

働き盛りの年代のスポーツ参加機会の創出

～頑張る世代リフレッシュ事業～

### 【テーマ設定の理由】

通常の体育館の利用時間では参加する機会がなかった働き盛りの年代を対象に、今般市立体育館に新設された夜9～11時の利用時間枠を利用し、地域でスポーツを楽しめる環境を整備する。

### 実践クラブ評価委員会

委員長 藤本 淳也(大阪体育大学 教授)

委員 菅井 繁實((社)和歌山県体育協会・クラブ育成アドバイザー)

委員 南 由佳((社)和歌山県体育協会・クラブ育成アドバイザー)

委員 山本 明(紀州レンジャーズ・事務局長)

委員 岸田 昌章(げんき倶楽部はしもと・クラブマネージャー)

委員 谷本 禮三(ESスポーツクラブ・会長)

県教委担当 馬場 秀典(スポーツ課 生涯スポーツ班長)

事務局長 濱口美都子((社)和歌山県体育協会事業第2係 主査)

### 課題解決のために連携をとった機関・団体

■和歌山市教育委員会 教育総務部体育振興課

### 【上記機関・団体と連携をとった効果】

プロジェクト会議への出席、開催会場の確保と募集資料の配付(学校内配布或いは市政月報への折り込みの協力依頼)により行政からの意見徴収・協力体制の確保が可能となった。

### 実践クラブ名 エンジョイスportsわかやま

#### 【クラブ概要】

- ・設立年月日 平成 18 年 8 月 3 日 設立
- ・クラブ所在地 和歌山市粟64-1
- ・クラブの特色 スポーツを愛好する仲間が自発的、自主的に集い、誰もがスポーツを楽しむことにより健康で生きがいに満ちた豊かな生活を実現すると共に、将来を担う健康でたくましい子供達の育成に寄与し、健康あふれる街作りに貢献することを目的としている。
- ・クラブマネジャーの活動状況 常勤(週4日以上) 有給(月額50,000円)
- ・会員数(H21.7.1現在) 724 人 ・定期活動種目数 14 種目
- ・会費の種類と金額 会員費 個人会員 2,000円 ファミリー会員 3,000円  
スクール料 14回コース 大人 6,000円 中学生以下 4,000円  
18回コース 大人 8,000円 中学生以下 6,000円
- ・平成21年度総予算額 12,413,500 円

## 実践プロジェクト① 頑張る世代リフレッシュ事業

### ◆プロジェクトのねらい

通常の体育館の利用時間では参加する機会がなかった働き盛りの年代を対象に、今般市立体育館に新設された夜9～11時の利用時間枠を利用し、地域でスポーツを楽しめる環境を整備する。

### ◆実施概要

体育館夜7時～9時・夜9時～11時の利用時間枠を活用して30～40代を中心とした働き盛りの年代を対象にスポーツ教室を実施し、PRのため一般参加も含めた交流大会を行った。種目：バドミントン・卓球・テニス・ソフトテニス・フットサル 回数：18回(月3回×6ヶ月)。申込み方法は、パンフレットに申込み兼用振込用紙を添付、自治体受付・大手スーパー大型店・市内体育施設等計21箇所に1000部ずつ設置し、広く参加者を募った。

◆参加者数 1,912人(1回ごとの人数は別添のとおり)

### ◆活動の様子

各種  
スポー  
ツ教室  
講師



教室  
参加  
のみな  
さん



### ◆評価

「エンジョイスportsわかやま」の積極的な取り組みは、高く評価できる。プロジェクト会議による検討と計画をとおして、2つの体育館でバドミントン、卓球、テニス、ソフトテニス、フットサルの教室を月3回、6カ月間開催した。これらの教室は、午後7時から11時の間に時間設定したことによって、働き盛り世代が参加しやすい環境を整えたとともに、地域づくりに対する貢献も大きい。

## 本事業の成果

この教室の最大の特徴は、Ⅰ. 働き盛り世代が参加しやすい時間設定、Ⅱ. 地域の体育館での開催、Ⅲ. 「スポーツ」の教室、である。教室の時間設定は、バドミントン、卓球、ソフトテニスが午後7時から9時、テニス(2クラス)とフットサルが午後9時から11時である。

一般的に、仕事をしている人が平日の夕方の早い時間帯にスポーツを実施することは難しい。この教室では、特に午後9時から11時の教室へも参加者も多いことから、働き盛り世代にとって教室に参加しやすい設定であったといえる。また、開催場所は地域の体育館であることも重要である。

地域住民にとって地元の公立体育館は比較的身近な場所であり、施設も充実している。きょうくに広域スポーツセンターが実施した「スポーツ参加意識アンケート」によると、スポーツを「していない」と回答した人のうち「機会があればスポーツをしてみたい」人は76.9%で、スポーツ活動に対するニーズが高い。そして、スポーツをしたいのにできない理由は、「仕事が忙しく時間がない(26.7%)」「活動場所が近くにない(24.6%)」「仕事の終了が遅い(22.6%)」で、勤労者にとって時間と場所が大きな阻害要因となっている。

さらに、この教室が「スポーツ教室」であることも勤労者のニーズを満たしているといえる。現在では、深夜まで営業している民間フィットネスクラブも多い。民間セクターでは、既に勤労者の時間という阻害要因をクリアするサービスが提供され、多くの会員が仕事帰りに活動している。

しかし、ここでの活動は「運動」「エクササイズ」「リラクゼーション」が中心であり、テニスやバドミントンなどのスポーツ種目ではない。この教室は、活動可能な時間帯に、身近な場所で、スポーツ活動を楽しみたいという勤労者のニーズを満たしている。

## 本事業の課題と今後の取組

今後の課題としては、①教室の継続と拡大、②指導者の確保、③予算の確保があげられる。

担当者のお話によると、この教室の継続を求める会員の意見は多い。働き盛り世代のスポーツ実施による精神的、社会的、身体的効果を高めていき、活力ある地域づくりにつなげていくためには、この教室事業の継続が望まれる。

また、事業を拡大していくためには、比較的夜遅い時間帯に利用できる体育館の確保が必要である。「頑張る世代リフレッシュ事業参加者アンケート」によると、参加者が30分で行くことのできる身近な体育館は、現在教室を開催している体育館以外にも存在する。「時間」とともに「身近な場所」の確保は、働き盛り世代のスポーツ活動充実には不可欠である。指導者の確保も不可欠である。

上記のように、この教室の指導者は比較的高い評価を得ており、それは教室参加の満足度に対して大きな影響を及ぼす。現在の質の高い指導者を維持するとともに、今後の活動充実のためには、新たな指導者の確保も課題となる。

最後に予算の確保である。アンケート結果によると、現在の1スクール(18回分、保険料含む)9,600円という値段設定は、高い評価を得ている。しかし、補助金なしで独立した事業とした展開を目指す場合、新たな値段設定が必要となる。また、指導者の確保・維持、会場の確保にも予算が必要である。働き盛り世代に対して、質の高いスポーツ活動参加機会を創出するためのシステム作りが求められる。

(本件問合せ先: 社団法人和歌山県体育協会 073-431-3982・1080)